



平成29年度冬号 (NO. 30)
 発行：竜丘地域自治会
 編集：地域振興委員会
 問合せ先：(0265) 26-9303

最後の稼働を終えて ～桐林クリーンセンター～

平成29年11月30日桐林クリーンセンターの煙突からは白煙が消え、15年間休まず、一般ごみを燃やし続けた焼却炉は火を落としました。

思えば平成10年頃、埼玉県 所沢市の農作物がダイオキシンに汚染されているとの報道から、全国の焼却施設の煙突の排煙中のダイオキシン濃度や、焼却残渣の中から基準を超えるダイオキシンが検出され、健康に害があるとの報道が相次ぎ、南信広域連合でも、国の新しい基準に合わせた炉の回収か新炉建設かの議論の末、現施設の隣に新炉建設となりました。

この間、地元の桐林区常会個別の説明会、竜丘各区での説明会や、自治会役員・地区民の皆様で先進地及び新焼却施設・メーカーの視察研修などを行い、それぞれが勉強した中で新炉建設に「受け入れる地元もごみを出す市民であり、苦渋の選択として受け入れる」との決断をしていただきました。

当時国内で一番厳しい運転基準での施設建設となりましたが、広域連合・飯田市も地元の約束を真摯に守っていただいたの15年・・・深謝

(竜丘地域自治会 相談役 中島武津雄)



自然を想い、楽しむ心 ～天竜川鷺流峡復活プロジェクト～



平成27年6月に立ち上げた、天竜川鷺流峡復活プロジェクトの取り組みが、昨年度の「南信州元気な森林づくり大賞」の受賞に続き、今年度は「長野県ふるさとの森林づくり賞 長野県特用林産振興会長賞」を受賞しました。竹林整備の実績と伐採した竹の有効活用として、事業者「天竜舟下り」による竹いかだ体験や、有志のグループ「長野原 竹宵の会」による竹灯籠づくり、地元農産加工グループ「長野原 笑ったり寄ったり」によるメンマの製造・販売を、連携して取り組んでいることが高く評価されました。

プロジェクトも3年が経過しようとしていますが、これから活動の幅もメンバーも広げ、リニア大交流時代を見据えて、地域の魅力の一つにしていきたいと考えています。

メンバーは、楽しみながら地域に貢献するという気持ちで参加をしてくれています。地元の小中学生も参加し、プロジェクトも徐々に仲間が増えていますので、興味のある方はぜひご参加ください。

(地域振興委員長 伊原 聡)



竹が伐採され、紅葉や川面が見えるようになった鷺流峡

連載シリーズ ～ 紹介します ～ 「人権擁護委員」

駄科を一望する寺、念通寺の下平澄瑞さんは、竜丘地区で人権擁護委員を11期31年の長きに渡り務めて頂いています。今回は人権擁護委員について、想いを語っていただきました。

昭和23年に発足した人権擁護委員制度では全国の人権擁護委員が、人権相談、救済、啓発活動（人権の花運動、主に小学生を中心とする人権教室、子供のSOSミニレター、全国中学生人権作文コンテスト、企業や施設への訪問、街頭啓発やイベント）と、様々な活動を行っています。



知識と人生経験の足りない私が長年に渡り重責の委員を勤めさせていただき、ただただ、申しわけなさいでいっぱいです。2年前、県連委員主催の関東ブロック大会に他県から三百余名の出席をいただき、落合恵子さんの講演での言葉「人権とは誰の足も踏まない、自分の足も踏ませない」が委員生活の土台になっていたのではないかと思います。在任期間を精一杯勤めさせていただきます。

（下平澄瑞）

災害に備える ～自主防災会～

竜丘自主防災会では、「竜丘地区防災計画」に基づき、災害時に備えて地区として最低限必要な防災資機材を定め、竜丘地区及び各区において計画的な整備を進めています。

今回、飯田市自主防災組織施設整備事業、赤い羽根共同募金 安心・安全なまちづくり活動支援公募配分事業を活用して、竜丘地区全体ではLED投光器6基、防災テント1基、防災用薪ストーブ1台を購入しました。



①LED投光器は、軽くて持ち運びも簡単なので

災害時の非常用照明として活用します。バッテリーを搭載しており、ノーマルモードで連続20時間の点灯が可能です。

②防災薪ストーブは、災害時の電気やガス等の供給停止を想定して、薪や枯れ竹等を燃料に避難施設の室内暖房や調理器として活用します。

③防災テントは、今回の購入で合計7基の保有となり、避難所の設置運営において様々な用途で活用します。

いずれの備品も災害時だけではなく、楽しみながら使用法を覚え、災害に備えるという視点も持ちながら、日頃から地区の祭りや各種イベント等に活用し、地域のコミュニティづくりや多くの方に携わってもらうことが大切と考えます。

今後も災害に強い地域づくりを目指して、自主防災会の事業に取り組んでいきたいと考えています。利用を希望したい団体・グループ等ありましたら、ぜひ自主防災会事務局までお問い合わせください。

（自主防災会 会長 下平勝熙）